

令和6年度 シラバス

科目	単位数	学年	
言語文化	3	1	
教科書番号・教科書名		副教材	
183第一 言文713・高等学校言語文化		新しい古典文法・漢文必携(桐原書店)、カラー版新国語便覧(第一学習社)	
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</li> <li>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</li> <li>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</li> </ul>		
評価の方法	①知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。(定期考査/小テスト)	「読むこと」「書くこと」「話すこと」「聞くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 (定期考査【書く、読む】発表・作品などの表現活動【話す・聞く】レポート【書く】)	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。 (ノート、レポート、課題などの記述内容/各種テストの取り組み状況/授業中の発言や行動の様子/自己評価や相互評価)

学習計画及び評価方法

学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	古文 入門	児のそら寝	・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。	○		
			絵仏師良秀	・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。	○		○
	5	古文 随筆(二)	『徒然草』 丹波に出雲といふ所あり	・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。	○		○
			漢文 入門	訓読に親しむ(一)～(三)	・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。	○	
	6	古文 歌物語	漁夫之利 狐借虎威	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○		○
			『伊勢物語』 芥川 東下り	・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。		○	○
7	近現代の詩歌	その子二十	・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わっている。	○		○	
第2学期	9	古文 随筆(一)	『枕草子』 九月ばかり	・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解している。 ・学習の見直しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。		○	○
			漢文 史伝	『十八史略』 臥薪嘗胆	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・やや長めの史伝を読んで登場人物を押さえ、主要な人物の考えや主張を読み取っている。	○	
	10	古文 日記	『土佐日記』 門出 帰京	・我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解いている。 ・学習の見直しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。		○	○
	11	漢文 漢詩	唐詩の世界 江雪 江南春 静夜思 送元二使安西	・表現の技法とその効果について理解している。 ・表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取っている。	○		○
			古典の詩歌	万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わっている。	○	
	12	近現代の詩歌	一つのメルヘン	・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで作品世界を理解しようとしている。	○		○
I was born			・散文詩に親しみ、「I was born」という言葉がどのようなイメージで捉えられているかを読み取っている。 ・「僕」の理解したイメージを自分事として共有し、考えたことを積極的に話し合おうとしている。		○	○	
1	漢文 思想	『論語』	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解している。	○		○	
第3学期	2	古文 軍記物語	『平家物語』 木曾の最期	・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解している。	○		○
			古典の詩歌	『奥の細道』 平泉	・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉えている。 ・和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読み、これまでの学習を踏まえて解釈を深めようとしている。		○